

2020年度資金分配団体 【PO3年目後期研修】 ビデオ学習用課題

資金分配団体名：_____

名前：_____

E-mail：_____

確認者(JANPIA担当)：_____

事後評価研修

講師：今田克司様 千葉直紀様 CSOネットワーク

ひろしまNPOセンター 松村 渉 様 全国食支援活動協力会 大池 絵梨香様

受講済み ☐

1. 事後評価に向けての講義で、様々な事例、手法なども聞き、これから評価を実践していく中で改善したいこと、やってみたいこと、参考になったことを記載してください。

やるべきこと・やってみたいこと

- ・
- ・
- ・

参考になったこと
(やるかどうかは、ひとまず別とする)

- ・
- ・
- ・

2. 自団体(資金分配団体)の特徴や成果など、見える化が進んできたかと思います。その上で、改めて明らかになった成果はどんなところか、あるいはまだ評価・成果として記載できない部分があれば、それぞれ記載してください。

成果としてとらえられる部分

- ・
- ・
- ・

まだ、評価しきれていない部分(課題と感じている部分)

- ・
- ・
- ・

事後評価研修

講師： 今田克司様 千葉直紀様 CSOネットワーク

ひろしまNPOセンター 松村 渉 様 全国食支援活動協力会 大池 絵梨香様

受講済み ☐

3. 資金分配団体・実行団体にとって、評価結果をどのように報告・活用されると最も役立つだつと考えますか。そのために、何を目的（獲得目標）にして、いつ、誰に、どのような報告をすることが良いと考えますか。

4. 事後評価の実施プロセス（データ収集、取りまとめ、報告など）において、誰を巻き込んで（既に巻き込んでいる場合はあえて新しい人を検討してみてください）どのように進めることが、資金分配団体・実行団体の目的に叶いますか。

5. 事後評価で何より重要なのは、予期した（創出を意図した）アウトカムの測定（事実特定）と価値判断です。と最後のメッセージにもありましたが、それに向けての不安や課題がありましたら記載してください。

-
-
-

事後評価 点検・検証の様式について

説明： JANPIA 竹之下・後藤

受講済み ☐

1. 点検・検証について事後評価で2回目となりますが、前回実施したことを活かし(または反省し)、実行団体の状況を踏まえ、今回はどのようにやっていこうと思いますか。

2. 資金分配団体としての報告書をつくるにあたって、どのように進めていくと良いと思いますか。

最後の1年に向けて持続化戦略・出口戦略を考える

講師： NPO法人ETIC.番野智行様 全国コミュニティ財団協会 石本 貴之様

受講済み ☐

1. 冒頭のアイスブレイクにもありますが、ご自身の現在地を10段階で表してください

2. 1の理由について教えて下さい。

3. ETIC.、全国コミュニティ財団協会の事例を聞いての感想や学び、モヤモヤなどを記載して下さい。

3. 休眠預金の資金分配団体のPOとして、最終年度はどのように成長(学びや経験も含め)をしていきたいですか。またそのためには、どのように行動していければ良いと思いますか。